

一般入試後期D日程

日本史

I

■出題のねらい

古代の政治史を中心に出题しました。Aでは、蘇我氏についてのリード文を示し、当時の出来事について、政治史・文化史・外交史など多面的に基本的な知識を問いました。Bでは、令外官をテーマとしたリード文を示し、律令、蔵人の頭、関白などについての基本的な知識を問いました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は、2です。正答率が低かった（20%以下）問題は5、6、8です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
I	1	①	広隆寺は秦河勝が建立した秦氏の氏寺。岩戸山古墳は筑紫国造磐井の墓とされている。
	2	②	イ敏達天皇は推古天皇の夫で、父は欽明天皇。 ウ斉明天皇は7世紀中頃の女帝。
	3	③	①大伴金村ではなく物部守屋。大伴金村は540年に百済の加耶西部支配の問題で失脚した。 ②八色の姓ではなく冠位十二階。八色の姓を制定したのは天武天皇。 ④『旧辞』『帝紀』ではなく『天皇記』『国記』。『旧辞』は神話・伝承などを、『帝紀』は天皇の系譜を中心とする伝承をまとめたもので、欽明朝の頃に成立したとされる。
	4	②	①文帝ではなく煬帝。文帝は煬帝の父で、隋の建国者。 ③南淵請安は国博士になっていない。 ④坂上田村麻呂ではなく犬上御田歊。坂上田村麻呂は797年に征夷大將軍に就任した人物。
	5	④	X誤り。北魏様式ではなく中国南朝（梁）様式。北魏様式は端正で厳しい表情などを特徴とする。 Y誤り。高松塚古墳壁画は白鳳文化期のもの。
	6	③	①律と令の説明が逆。 ②格と式の説明が逆。 ④『令集解』ではなく『令義解』。『令集解』は惟宗直本が編んだ私撰注釈書。
	7	④	ク右大臣は令外官ではない。 ケ檢非違使は嵯峨天皇が設けた京の治安維持にあたる令外官。

大問	解答 番号	正答	解 説
I	8	③	X 誤り。蔵人頭は平城太上天皇の変の際に設けられた。 Y 正しい。
	9	①	②阿衡の紛議（887～888年）が起こる前の光孝天皇のときに藤原基経は正式に関白に就任していた。 ③源信ではなく源高明。源信は応天門の変（866年）の際に伴善男が失脚を狙った左大臣。 ④藤原道長は関白に就任していない。

II

■出題のねらい

中世と近世の政治史を中心に出题しました。Aでは、室町時代後期の政治史についてのリード文を示し、足利義則の治世の出来事や応仁の乱、戦国時代の畿内の様子など、幅広く出題しました。Bでは、江戸幕府3代家光の治世から新井白石にいたるまでのリード文を示し、武家諸法度、文治政治への転換、正徳の政治などについての基本的な知識を幅広く問いました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題はありませんでした。正答率が低かった（20%以下）問題は14、21です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
II	10	⑥	1428年には「日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり」とされた正長の徳政一揆が起こった。
	11	③	足利義持は父足利義満が開始した日明貿易を朝貢形式への不満から中断した。
	12	①	1441年、足利義教は播磨などの守護をつとめる赤松満祐に暗殺された（嘉吉の変）。この混乱に乗じて京都では嘉吉の徳政一揆が起こった。
	13	③	①土岐康行の乱（1390年）、②応永の乱（1399年、将軍は4代義持）は足利義満によるもの。 ④享徳の乱（1454～82年）は足利義政のときに始まった。
	14	④	X 誤り。悪党ではなく足軽。悪党は鎌倉時代後期に登場した新興武士団。 Y 誤り。応仁の乱（1467～77年）の最中の1473年に9代将軍に足利義尚が就いた。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅱ	15	⑤	京都の支配者は、将軍（足利氏）→管領の細川氏→細川氏の家臣三好長慶→三好長慶の家臣松永久秀と移っていった。したがって、Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ。
	16	⑤	徳川家綱は、家光の弟で会津藩主の保科正之や大老酒井忠清の補佐を受けた。
	17	⑥	当初、徳川綱吉は大老堀田正俊の補佐を受けていたが、堀田が暗殺されると、側用人の柳沢吉保を重用した。
	18	①	正徳の政治を主導したのは儒学者の新井白石と側用人の間部詮房。
	19	②	①島原の乱（1637～38年）のことで、これを機にキリスト教の弾圧が強化された。 ③シャクシャインの戦い（1669年）のことで、これ以後、アイヌは松前藩に全面服従することになった。 ④赤穂事件（1702年）は綱吉の治世の出来事。
	20	④	①武家諸法度（元和令）。 ②武家諸法度（寛永令）。 ③禁中並公家諸法度。
	21	②	①服忌令（1684年）は徳川綱吉の事績。 ③海舶互市新例では金銀の流出を防ぐために支払いの上限額を定め、銅や俵物での決済を奨励した。 ④「日本国大君殿下」から「日本国王」に改められた。

Ⅲ

■出題のねらい

近代の政治史・外交史を中心に出題しました。Aでは、大日本帝国憲法発布以降の議会政治に関するリード文を示し、大日本帝国憲法、衆議院議員選挙、政党の動き、第2次伊藤博文内閣など、当時の国内政治に関する正確な理解を求めました。Bでは、第1次世界大戦に関するリード文を示し、二十一カ条の要求やパリ講和会議のほか、国際協調時代に結ばれた国際条約など、外交史を中心として基本的な知識を問いました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題はありませんでした。正答率が低かった（20%以下）問題は25、29、30です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅲ	22	②	①「日本国憲法」を作成したのは大審院ではなく元老院。植木枝盛の私擬憲法は「東洋大日本国国憲法」。「五日市憲法」を作成したのは千葉卓三郎ら。 ③市制・町村制が公布されたのは1888年。 ④ビゴーではなくベルツ。ビゴーは明治期の日本に関する風刺画を描いたフランス人。
	23	③	①予算先議権が衆議院にある以外は、衆議院と貴族院は対等であった。 ②立憲帝政党は1883年に解党している。第一議会における吏党は大成会、国民自由党。 ④女性参政権は1945年に改正された衆議院議員選挙法のもとで行われた1946年の総選挙で実現した。
	24	④	ウ黒田清隆は大日本帝国憲法発布の翌日に超然主義演説を行った。 オ樺山資紀は第1次松方正義内閣の海相で、蛮勇演説を行って藩閥政府を擁護した人物。
	25	①	X Y 正しい。
	26	②	進歩党の大隈重信を外相に就けようと失敗し、第2次伊藤内閣は総辞職した。1894年、陸奥宗光外相によって領事裁判権の撤廃が実現した。
	27	④	①漢冶萍公司を日中合弁事業にすることを要求した。 ②義兵運動ではなく五・四運動。義兵運動は第3次日韓協約により解散させられた韓国の軍隊が参加して本格化した反日闘争。 ③中国は第5号の中国政府への日本人顧問・日本人警察官の雇用についてのみ受け入れを拒否した。
	28	③	ク袁世凱は二十一カ条の要求を受け入れた。 ケ桂・タフト協定は1905年に首相の桂太郎とアメリカの陸軍長官タフトの間で結ばれた、日本の韓国保護国化とアメリカのフィリピン統治を相互承認する協定。
	29	①	X Y 正しい。
	30	③	①②四カ国条約と九カ国条約が逆。 ④ロンドン海軍軍縮会議ではなくワシントン海軍軍縮会議の内容。ロンドン海軍軍縮会議では英・米・日の補助艦保有量を制限する条約が結ばれた。

IV

■出題のねらい

江田船山古墳の出土品や壬申の乱など古代に関する事項から、太平洋戦争。片山哲内閣といった近現代に関する事項まで、時代と分野を限定せず、基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題はありませんでした。正答率が低かった（20%以下）問題は33、34、40です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
IV	31	①	②三角縁神獣鏡は古墳時代前期の古墳から多く出土した青銅製祭器。 ③七支刀は4世紀後半に百済王が倭王に贈ったとされる。 ④隅田八幡神社人物画像鏡は漢字で日本語を表記した例として知られるが、「獲加多支鹵大王」の銘はみられない。
	32	③	①大海人皇子（のちの天武天皇）は大友皇子と皇位を争った天智天皇の弟。 ②大津皇子は天武天皇の子。 ④草壁皇子は天武天皇と持統天皇の子で、元明天皇の夫。
	33	④	X誤り。光仁天皇ではなく、子の桓武天皇。 Y誤り。和氣清麻呂が建議したのは平安京遷都。
	34	②	①紀貫之ではなく藤原公任。紀貫之が編んだのは『古今和歌集』。 ③『小右記』ではなく藤原道長の著した『御堂関白記』に、朝廷の儀式や行事について書かれている。また、『小右記』は藤原実資の日記。 ④一木造ではなく寄木造。一木造で仏像が制作されたのは弘仁・貞観文化期。
	35	④	①踏車ではなく龍骨車。踏車が用いられるのは江戸時代。 ②年貢の銭納が始まったのは鎌倉時代。 ③室町時代には、下肥だけではなく刈敷や草木灰も使われていた。
	36	③	①フランシスコ=ザビエルではなくヴァリニャーニ。ザビエルは日本にキリスト教を伝えた宣教師。 ②高山右近ではなく大友義鎮（宗麟）。高山右近は江戸時代に禁教令により海外に追放されたキリシタン大名。 ④使節は帰国している。
	37	①	②手島堵庵は石田梅岩に学んだ心学者。 ③富永仲基・④山片蟠桃は大坂の懐徳堂で学んだ町人学者。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅳ	38	③	①地租改正に反対して、1876年に地租改正反対一揆が起こった。 1876年の②秩禄処分・④廃刀令への不満は、士族の反乱の要因となった。
	39	②	X正しい。 Y誤り。ガダルカナル島撤退ではなくサイパン島陥落。
	40	①	②公害対策基本法は1967年制定で、佐藤栄作内閣のとき。労働省は片山内閣の1947年に設置されたが、ほかに社会主義政策はほとんど実施されなかった。 ③革新知事が誕生するのは1960年代後半以降。 ④昭和電工事件で総辞職したのは芦田均内閣。片山内閣は炭鉱国家管理問題などで左派と対立して総辞職した。